

事業概要シート

施策 1601 観光交流のまちづくり

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	グリーン・ツーリズム推進事業	新規	予算額	1,891 千円
事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度			《 》千円
根拠法令 要綱等		財源内訳	国庫支出金	千円
			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	1,891 千円
			一般財源	千円

【事業の目的・概要・対象】

【事業目的】

大村市内における交流人口の拡大及び地域の活性化を図るため、農家民泊の更なる拡大、安定的な宿泊の定着となることを目指す。

【事業概要】

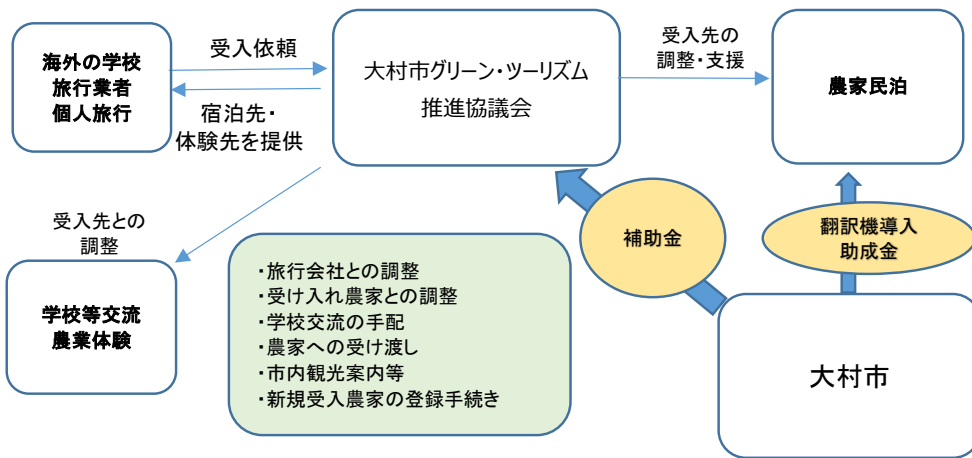
農家民泊、自然を活用した体験型観光を推進する大村市グリーン・ツーリズム推進協議会に対して事業費の補助を行う。また、受入農家への翻訳機購入の助成を行う。

【対象】

大村市グリーン・ツーリズム推進協議会、受入農家

グリーン・ツーリズム推進事業

- 大村市グリーン・ツーリズム推進協議会へ事業費補助
- 受入農家へ翻訳機導入費用の助成



【背景】

市全体の宿泊客数が伸び悩むなか、大村市グリーンツーリズム協議会が実施する農家民泊の宿泊数は、中華圏をはじめとするインバウンドの受け入れが堅調に推移し、増加傾向にある。グリーンツーリズム協議会の農家民泊の大半は、インバウンドの修学旅行が占めており、旅行会社等との受け入れ調整、体験型観光の創出、学校交流の調整、受け入れ農家の調整など多岐にわたり、年々協議会の事務が煩雑となっている。

担当課	産業振興部観光振興課	課長	前川 靖彦
担当者	辻丸 理絵	問合せ先	0957-53-4111 (内線242)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)	
①	グリーンツーリズム協議会インバウンド受入実数	計画値	人	330	697	700	750	800
②	翻訳機導入受入農家数	計画値	軒	0	0	10	11	12

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)	
①	大村市外国人宿泊客実数	計画値	人	2,257	3,000	5,000	5,000	5,000
②	大村市グリーン・ツーリズム推進協議会農泊施設数	計画値	軒	9	9	10	11	12

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	0	0	0	1,891	1,801	1,801	5,493
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他				1,891	1,801	1,801	5,493
一般財源							0
人件費		0	0	1,091	1,091	1,091	3,272
職員(人)				0.15人	0.15人	0.15人	0.45人
時間外勤務(h)							0h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	0	2,982	2,892	2,892	8,765

妥当性 (市の関与)	事業実施により、大村市の安定的な宿泊の定着につながり、市内の地域の活性化に有効であるため、市の関与は妥当である。
有効性 (施策貢献度)	事業実施により、国内外から観光客の取り込みとともに交流人口の拡大が図られるため、施策貢献度は高い。
効率性 (コスト)	協議会が主体的に行っている事業であり、委託や直営で執行するより補助を行うことは有効である。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	一次評価のとおり